

「地域とともに歩む明章校」をめざして

坂井市立明章小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	9回 (のべ) 9日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	62人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	71人
登下校支援ボランティア	620人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 ふるさと教育 」

【具体的活動内容】

本校は、田園地帯に立地し今年度創立20周年を迎える新設校である。地元で学校という地域の方々の熱い思いで開校した学校でもある。そこで、本校では家庭や地域と連携し、郷土の自然や人や文化、産業等とふれあう機会を充実させ、ふるさとのよさを発見し、ふるさとへの愛着心を育てる活動を多く展開したいと考えている。

① 地域の中で学ぶ「どろんこ教室」

本校では、毎年各学年でさつまいもやそば・稲を地域の方の協力を得て栽培している。農村地帯に暮らしながら、農業体験をしたことのない児童が多く、作物を育てる苦労や収穫の喜びを感じることでできる貴重な体験となっている。また、地域の方と共に活動する中、作物を育てる知恵を学ぶだけでなく、作物を育てることへの深い思いに触れることができ、地域の方の生き方そのものを学ぶ大切な場ともなっている。



② 学習の成果を発表し収穫を味わう「明章まつり」

「明章まつり」では、収穫したさつまいもやそばや米で、保護者の方と一緒に、そば打ち・餅つき・かりんとう作りに挑戦した。そば打ちでは、そばの達人においしいそばの打ち方を伝授していただくとともに、餅作りでは、臼取りのために地域のお年寄りの方に参加いただいた。地域の方から昔の技を学び、地域の方との交流を深めることができた。



また、今年度は「明章まつり」の中で発表会を行った。その発表会には、保護者だけでなく、お世話になっている見守り隊の方や地域・学校協議会の委員の方をお招きし、学習の成果を発表し、学校の取り組みへの理解を深めていただく場とした。



③ 地域の町づくり活動に参加して



地域・学校協議会の委員として、「町づくり協議会」の代表の方に1名入っていた。地域の町づくり協議会では、「ふるさとを愛する魅力あるまちづくり」等を基本方針に、熱心に活動を展開している。そこで、地域・学校協議会等で、育てたい子どもの姿の共有化を図り

町づくり協議会の活動の中の「緑あふれる町づくりのための活動」に、高学年も一緒に参加させていただくことにした。

具体的には、地域の方と一緒に花の苗を植え、大切に育てた花を、学校の児童玄関や地域の道路にかざる活動を展開した。この活動を通して、町づくり協議会のみなさんの熱い思いに触れ、地域の一員として自分たちも町づくりに参加できたことへの喜びを味わうことができた。

また、運動会の昼食時間に、地域の伝統料理のゴボウ汁を振る舞って下さったり、明章まつりにお茶席を出して下さったりするなど、町づくり協議会の方や地域の方が進んで行事に参加して下さっている。児童は、自分たちの活動に参加して活動を盛り上げて下さることへ感謝の思いを持つとともに地域の方との交流を楽しむことができた。



【成果と課題】

(1) 成果

地域・学校協議会では、学校に対する貴重な意見や要望をいただき、本校の教育活動の充実に生かしてきている。また、児童の良さや課題を共有化し、地域や家庭との連携について話し合う等、地域や家庭との意思疎通を図ることに努めた。「どろんこ教室」等での地域の方との活動を通して、作物を育てる工夫と努力を学ぶとともに、地域の方の生き方そのものを学ぶ大切な場ともなっている。また、地域との交流をより深めることを通して、児童も教職員も地域の良さを実感してきた。さらに、地域との交流が学校への深い理解につながり、今まで以上に地域の協力も多く得られるようになってきている。

(2) 課題

地域・学校協議会での話し合いをさらに充実させ、学校・家庭・地域、それぞれの教育力を高めるための効果的な取り組みを今後も工夫していきたいと考える。

ふるさと教育については、児童に身につけさせたい力を明確にし、発達段階に応じた活動を設定し、ふるさとの良さを発見する活動をさらに充実させるための効果的な取り組みを工夫していきたいと考えている。

